

令和2年7月1日発行

公益社団法人

相模原市シルバー人材センター

相模原市中央区富士見4-3-1

会員数(令和2年6月1日現在)

3,140名

ホームページ：相模原市シルバー人材センター

検索



第9回定時総会が開催される

令和2年6月11日(木)午前10時から相模原市シルバー人材センター事務局大会議室において、公益社団法人相模原市シルバー人材センターの第9回定時総会が開催されました。

福田嘉男理事の開会のことばに続き、山中森勝理事長のあいさつでは、6年連続の会員減少、新型コロナの発生により受託事業の中止や一部閉鎖などで契約金額が大幅減少となるなどの厳しい状況が報告されました。

議長には、伊集院兼弘理事が選出され、以下の報告事項及び議決がなされました。

I 報告事項

1. 令和元年度収支補正予算(第1号)
2. 令和元年度収支補正予算(第2号)
3. 令和元年度収支補正予算(第3号)
4. 令和元年度事業報告

II 議決事項

- 第1号議案 理事19名選任
第2号議案 監事2名選任
第3号議案 令和元年度決算報告 監査報告

III 報告事項

1. 令和2年度事業計画

2. 令和2年度収支予算

議長が、すべての審議の終了を宣言・降壇されました。

その後、長年理事としてご活躍され退任される伊集院兼弘理事・木村和光理事・松本好雄理事・神保一夫理事の4名に表彰状が授与されました。

おわりに、古木君江理事の閉会のことばで令和2年度の定時総会を閉会いたしました。

今年度の定時総会は新型コロナの防止対策のため、市民会館の借用ができず、「委任状」および「議決権行使」により少人数での開催となりましたが、人事案件も満場一致で採択され、新型コロナの終息を願って新たな体制でスタートしました。



理事会だより

－ 理事長・副理事長・常務理事が選任されました －

5月15日、第1回理事会は新型コロナウイルス感染拡大に伴う「緊急事態宣言」のため、各役員に議案を送付し書面により賛否の意思表示を得る方法により行われました。

議案として役員選出要綱の一部改正が提案されました。従来、理事には行政選出の理事が参画していましたが、公益法人としての自主的・主体的な運営を更に進めるため、今後は選出をしないこととしたものです。また、特別会員の入会承認が提案されました。これは柿沢常務理事が任期満了により退任するため、新たに行政経験が豊富な新津昭博氏を特別会員に承認するとともに、補欠役員候補者として提案されました。他には、令和元年度事業報告及び決算報告、表彰規程に基づく被表彰者などが提案され、各々の議案は承認されました。

報告事項では代表理事及び業務執行理事の職務執行状況、各事務所の令和元年度事業目標結果及び令和

2年度事業目標などが報告されました。

6月11日、第9回定時総会終了後に臨時理事会が開催されました。議案として代表理事及び常務理事の選定が提案されました。最初に常務理事について、柿沢前常務理事の後任として新津昭博理事が、理事長については神奈川県シルバー人材センター連合会の理事長を務めるとともに、全国シルバー人材センター事業協会の監事を務める中央ブロック会員代表の山中森勝理事が承認されました。副理事長については事業発展のため活発に意見を提案されている南ブロック会員代表の清水薫理事が承認されました。次に理事会専門部会の構成について審議され、各々の理事の所属部会が決定しました。各理事は総務・事業・組織の3部会に分かれ、理事会に提案する議案等を審議していくこととなります。(構成は6ページ参照)

地区長紹介 ※新任地区長(13名)

| 中央ブロック地区長 | | 南ブロック地区長 | | 緑ブロック地区長 | |
|-----------|--------|----------|--------|----------|--------|
| 小山 | 関野 劭 | 大野中 | 桜場 清 | 橋本 | 窪田 哲夫 |
| 清新 | 村田 清 | 大沼 | 高橋 幹雄 | 西橋本 | ※梶原善志郎 |
| 横山 | ※佐藤 公仁 | 若松 | 斎城 徹 | 相原 | ※平野 靖和 |
| 中央北 | 小林 満 | 大野南 | 櫻井 辰美 | 二本松 | 外村 兼夫 |
| 中央南 | ※木村 和夫 | 上鶴間本町 | ※三戸 拓 | 大沢東 | ※奥村 勇 |
| 星が丘 | ※森 謙二 | 相模大野 | 小沼 晃 | 大沢西 | ※佐藤 信二 |
| 光が丘 | 久保 清秀 | 麻溝 | ※新倉 修 | 城山 | 岩本 雄 |
| 青葉 | 横山 秀男 | 新磯 | 川村 忠頼 | 津久井 | 江島 昇一 |
| 陽光台 | 岩井 肇 | 相模台 | ※岡村 雅明 | 相模湖 | ※太田 純二 |
| 大野北 | 小林 信雄 | 麻溝台 | ※菊池 雄一 | 藤野 | 飯森 誠 |
| 上矢部 | 久野 幹夫 | 相武台 | ※角田 幹夫 | | |
| 淵野辺 | 吉村 利康 | 東林 | 中島 惟清 | | |
| 田名 | 大塚 登喜雄 | 相南 | 矢尾 板敬太 | | |
| 上溝北 | 河本 進 | | | | |
| 上溝南 | 秋山 聖夫 | | | | |

令和2年度 表彰受賞者 (敬称略)

役員表彰 4名

南ブロック (相模台) 伊集院 兼弘
同上 (大沼) 木村 和光
緑ブロック (城山) 松本 好雄
同上 (相模湖) 神保 一夫

会員拡大 地区表彰 3地区

中央ブロック: 田名地区
南ブロック: 相武台地区
緑ブロック: 津久井地区

正会員 17年表彰 74名

川脇 忠雄
鐵見 法雪
中央南
風間 繁二
星が丘
福田 昭三
光が丘
岩佐 えい子
陽光台
奥村 才治良
宮嶋 宏
金子 栄
澤田 龍男
大野北
村上 忠孝

上矢部
青柳 正雄
淵野辺
今泉 靖子
山之内 満夫
田名
小泉 憲一郎
長瀬 平治
上溝南
阿部 勝治
永 章雄
千葉 実
大野中
金丸 二郎
小林 斉
村山 正一

村上 信夫
齊藤 省二
大沼
加藤 幸夫
根本 邦治
森 照男
若松
清水 栄一
斉藤 利幸
大野南
橋本 哲朗
山口 弘
藤田 凱夫
上鶴間本町
坂 博之
渋谷 佳夫

畠山 春二
麻溝
柿澤 光一
新磯
児島 節子
相模台
曾根 敏郎
麻溝台
安掛 俊之
相武台
吉田 尊臣
吉味 眞二
宮崎 利子
鈴木 明
東林
宮本 清

相南
古郡 久雄
川辺 裕司
立川 昭一
橋本
前田 利行
鈴木 充
相原
雑賀 治夫
小俣 紀勝
二本松
岡本 昭子
大沢東
関戸 幸子
廣澤 敏伯

大沢西
安室 太郎
高田 友弘
坂本 忠志
疋田 輝彦
城山
松本 好雄
石井 信一
津久井
松井 恭子
神 三池子
木崎 直和
相模湖
加藤 イセ
篠原 さつき
石川 次郎

正会員 10年表彰 164名

藤森 勝幸
柳迫 ヤスエ
光が丘
岩渕 初男
菊池 誠嗣
玉井 欣子
新関 政夫
青葉
河本 清一
吉田 正純
古木 君江
佐藤 忠武
大野北
阿部 静江
軽部 勝雄
佐藤 晴芳
佐藤 武男
佐藤 保夫
藤井 治政
上矢部
我妻 紀次
高橋 俊一
淵野辺
小池 ミサ子
青柳 啓五
田名
宮下 信義
森 大人男
中山 順

北川 吉夫
上溝北
安藤 盟機
飯村 司
浜田 勝
上溝南
永渕 勝春
浅野 敏廣
本田 政成
高城 和代
大野中
小野 多美男
大塚 節子
矢崎 茂樹
鈴木 正
高石 藤作
大沼
柿沼 武
佐藤 美代子
秋山 安司
村瀬 健司
中井 君子
渡辺 清
馬場 金治
若松
関 玄二
山崎 義章
森田 理
渡邊 博
鈴木 孝夫

大野南
山田 君枝
松浦 敏夫
藤原 清
上鶴間本町
臼井 清
郷 清
出澤 一好
本田 幸子
相模大野
伊藤 正一
近藤 功一
小沼 晃
松岡 務
大野 恵美子
嶋中 まさ子
藤井 益夫
麻溝
才川 文夫
菅原 喜吉
新磯
熊谷 敏
原澤 隆
山村 浩
山本 和二
相馬 峯男
八巻 宗市
相模台
吉田 康子
石崎 荘司

多田 仲制
太田 敏
中村 逸
藤尾 和子
網谷 武秀
齋藤 松三
麻溝台
五十嵐 藤吉
松崎 信彦
青木 美智男
相武台
阿部 正昭
佐藤 武彦
村田 勝男
太田 婦美枝
太田 牧夫
中島 恒子
柏木 隆
東林
浦野 節男
小野寺 アサ子
上野 伸介
川上 洌司
藤澤 功
相南
宮田 昭雄
埋金 浩四郎
橋本
志賀 史郎
出水 益雄

渡部 みつ子
平 勝
平本 正男
柚木 晴雄
相原
野中 公雄
鈴木 敏美
二本松
外村 兼夫
宮下 稔
宮田 一男
佐藤 美津代
高橋 弘子
大沢東
久保田 茂
桑原 利恵子
後藤 紀代子
斎藤 盛
山口 玉枝
山内 清光
山崎 ヒサ子
西川 勇
相馬 昭三
藺牟田 茂樹
高橋 忠四郎
大沢西
岩澤 正雄
降矢 廣勝
山口 博
小野寺 美輝彦

鶴林 二三
梅津 ヒサエ
梅田 千枝子
城山
安住 博
園山 清允
岩本 雄
三浦 武
前田 高男
頼田 八一
津久井
甘利 一夫
江島 昇一
江島 令子
黒沢 昌弘
山崎 典夫
萩原 タカ子
相模湖
小林 晏
神保 喜男
前田 保法
渡邊 みさ
藤野
飯森 誠

小山
鈴木 裕之
清新
高橋 美智子
能勢 茂
友田 時彦
横山
浦中 フミ代
丸山 芳治
山崎 功文
小形 吉正
水上 勝美
島貫 佳子
平田 泰通
中央北
早川 君男
中央南
伊比 京子
金久保 昭夫
小椋 重夫
西澤 正
板橋 重之
高原 展
星が丘
菊池 タケ子
座間 功

いきがいの仲間たち

植木の手入れで就業する青柳さんと鈴木さん 【中央ブロック】

淵野辺本町3丁目にて植木の手入れで就業する青柳啓五さんと鈴木和夫さんにお話をうかがいました。

植木の手入れの基本は、枝の一枝ずつをよく見ることだと話されました。手入れの目的は、目隠し、出来栄え、病害虫の予防だということです。特に6月ごろから病虫害が出るので注意が必要とのことです。

就業時間は午前9時から午後4時ですが、都合によっては時間が伸びることもあるそうです。雨の日は延期になります。

仕事の難しいところは、ゴミの片付けで、家庭ごみに出してもらうか、センターの回収か？また、庭（現場）によっては、梯子の立て方に苦労します。そして、お客さんに喜んでもらうためには、お客さんが何を要求しているかをよく理解し、出来栄えや費用を安くということと、出来るだけ1日で終わることだそうです。

やりがいはお客さんに喜んでもらうことと自分も気持ちよく満足にできたということとのこと。

青柳さんは、囲碁や将棋がお好きで囲碁や将棋が載っている新聞や雑誌をよく見て考えることと、ウォーキングでは境川周辺を歩き、時には薬師池公園まで歩かれるそうです。

鈴木さんは、季節によりハイキングをされ、山菜や茸採りをされるそうです。今は植木の仕事がうまくなりたいとのことです。仕事をやると元気になり、夕食に一杯するのが楽しみだそうです。

お忙しい中、取材へのご協力をいただきありがとうございました。（小林）



鈴木さん 青柳さん

青山親水公園のトイレ清掃で就業する奥津さん 【緑ブロック】

青山親水公園は三ヶ木バス停より歩いて30分から40分歩いた道志川のそばにある静かで美しい公園です。春は公園の周りの桜が美しく、5月の新緑はきれいで癒される場所です。取材に伺った時は道志川で子供たちが水遊びで楽しそうにはしゃいでいました。公園の芝生で犬の運動をさせる人も多いたとのことでした。また、すぐそばに三太物語発祥の地に建つ静寂な三太旅館があります。

奥津恵子さんは公園のトイレ掃除を初めてから3年から4年ぐらいになるそうです。

清掃は一週間に1回午前8時から午前10時までの2時間ですが、作業の日時は自分の都合の良いように決められるという事でした。清掃の範囲は公園に1台設置されている簡易トイレの便器、内壁、外壁、トイレ回りの清掃及びペーパーの交換です。そばにある公園駐車場に捨ててあるたばこの吸い殻の片づけ、夏季には周りの草刈りも行おうそうです。

来訪者と話す機会が楽しいようで、「いつもきれいにしてくれてありがとう」と言われるとうれしく、励ましにもなり、やっつけてよかったと思うとのことでした。

趣味を伺うと、自治会館、地域センターなどで地元、近所の人達との対話が本当に楽しいと話されていました。近頃はコロナの影響で公的機関が休みになって、集まれないので夕食後の暇な時に好きな習字を行う「自称フリー書道」を楽しんでいるそうです。また、スマホを持っているがなかなか操作に慣れなく、お孫さんとの話が出来ないのでそばに行きたいのに、コロナで危険だから来ないと言われてるのが悲しいと話されました。コロナが早く収まるのを願うばかりです。

取材にご協力いただきありがとうございました。（山口）



相模女子大学小学部でやぎ飼育補助をする丸山さん

【南ブロック】

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除された中、5月30日（土）に相模女子大学小学部で就業する丸山満さん取材しました。

小学部は小田急線相模大野駅北口より徒歩10分に位置し、学校法人相模女子大学の学園内にあり、少人数教育によるきめ細かい指導、魅力ある授業、分かる授業に取り組むと共に、子どもたちの一人ひとりの感動体験を大切に、課題に対し粘り強くチャレンジし、自ら学ぶ子どもたちの育成に取り組んでいます。

就業は毎週土曜日、午前9時から午前10時まで、実働1時間です。就業内容は、バニラ（やぎ）を組み立て式木柵「さがみ牧場」（おやじの会が作成）へ移動させた後、小屋内の清掃、えさやり、やぎの運動を兼ねた散歩とグラウンドの芝生、畑の雑草を食べさせるなどです。

2年生が中心となって世話をしているバニラは平成26年2月19日生で現在6歳となり、小学部のシンボルであり、学園のマスコットの存在となっています。

平成3年から低学年総合学習の一環として動物

飼育活動が推進され、12年間飼育してきた先代のミルク（5代目やぎ）が2学期の始業式の翌日に老衰のため亡くなり、「死」について感じ、学ぶ機会となったそうです。

「新型コロナ禍により、新しい生活様式が始まり、今は外出を自粛している状態です。仲間と一緒に一杯飲みながら雑談が出来る日が来ることを願っています」と話されていました。

ご協力いただき、ありがとうございました。

（松本）



安全管理委員会からのお知らせ

【就業会員の事故発生状況】

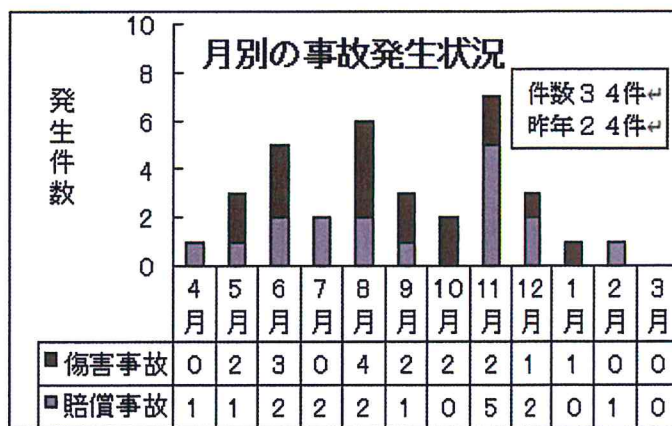
令和元年度の事故発生結果は、全体で34件（昨年24件）発生し、昨年度比10件増加となりました。内訳では、傷害事故が17件（昨年度14件）、賠償事故が17件（昨年同月10件）でした。

特に、就業途上事故は8件の内6件が自転車による事故でした。また、車での事故も増え、就業途上事故が1件と就業中の事故が4件発生しています。安全運転には十分に注意して下さい。

一方、令和2年度の事故も5月末までに清掃作業で2件、除草作業で1件の合計3件発生しています。常に作業は「安全第一」を意識し、作業基準を守って就業しましょう。

【熱中症に注意しましょう】

今年も、熱中症の多発する季節がやって来ました。こまめな水分補給、日頃の体調管理、十分な睡眠が大切です。詳細は、会報の添付チラシをご参照下さい。



役員紹介

6月11日に開催された第9回定時総会において、次の方々が選任されました。
また、同日に開催された臨時理事会において、理事長、副理事長が選任されましたので紹介します。

理事



理事長
山中 森勝



副理事長
清水 薫



常務理事
新津 昭博



担当理事
菊地原 浩二

中央ブロック会員代表



佐藤 康雄
(総務部会)



橋本 多吉
(組織部会)



糀谷 鉦三
(事業部会)



古木 君江
(事業部会)

南ブロック会員代表



福田 嘉男
(総務部会)



高岡 ミツ子
(総務部会)



長澤 隆大
(組織部会)



跡部 逸郎
(事業部会)

緑ブロック会員代表



岩里 繁雄
(事業部会)



小川 充信
(組織部会)



赤川 繁子
(組織部会)



植松 省三
(総務部会)



山本 諫一
(事業部会)



森 逸雄
(自治会連合会)
(事業部会)



木村 文江
(学識経験者)
(組織部会)

監事



高瀬 友子



笹野 一夫

新津常務理事就任のあいさつ



シルバー人材センター会員の皆様、本年5月から事務局でお世話になっております新津昭博でございます。

新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、6月11日の定時総会において選任され、柿沢常務理事の後任に就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は本市生まれ、本市育ちで、中央区淵野辺に在住しています。

平成29年3月末に相模原市役所を定年退職し、その後民間企業に再就職いたしました。

市役所では再開発、広報、清掃、経済、教育など多分野の職務に携わり、民間企業では指定管理業務の管理者として勤務いたしました。

さて、シルバー人材センターでございますが、昭和54年の生きがい事業団発足以来、実に40

年を超える歴史と実績を積み上げ、会員数も3,100人余を擁する公益法人として発展を続けております。

このことは、歴代の会員の皆様の熱意と実績が地域に信頼され、高い評価をいただいていた証であると痛感しております。

全国的に高齢化が進み、働きたい意欲の高まりが見られる中、シルバー人材センターは「自主・自立、共働・共助」を基本理念に、会員皆様の豊かな経験と高い能力を生かすとともに活力ある地域社会づくりに資する様々な事業を展開しており、その役割はますます重要性を増していると認識しております。

社会が変革する中、高齢者が活躍できる生涯現役社会の実現に向け、微力ではございますが尽力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

柿沢常務理事退任のあいさつ



平成27年、常務理事として就任以来、5年が経過しましたが、任期満了により本年4月30日を持ちまして常務理事を退任いたしました。この間、シルバー人材センターを取り巻く環境は、全国的な傾向とは言え、大変厳しい状況にあり、本市においても会員数は、平成25年度を、また、契約額においては平成28年度をピークに減少傾向にあります。

要因として、企業等における定年制延長や昨今の人手不足など様々掲げられております。こうした状況に歯止めをかけるべく、まずは、会員・役員・職員が一丸となって、本市シルバー人材センターが、平成30年に策定した「中期計画」の着実な推進が求められます。

一方、私は就任当初、センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の考えのもと、運営においては会員主体の組織とされておりますが、実態は事務局主導といった側面が否めないように感じ

ておりました。

しかしながら、平成30年の「走らない運動会」や「女性のための入会説明会」、昨年「シルバーまつり」の試行的実施など、会員・役員の皆様の知識・経験を存分に発揮され見事に実施されました。

また、手作りの「会員演芸会」も昨年で5回目を数え、皆様の底知れぬパワーをいただきました。会員主体の組織として変貌しつつあるものと考えを新たにしております。

当センターの理事長は平成25年・26年には全シ協の会長を、現在は全シ協の監事及び県シ連の理事長を担っております。今後、全国に誇れるセンターとしてさらに発展して行くものと確信します。

最後になりますが、会員の皆様をはじめ役員・職員の皆様には大変お世話になりました。皆様がいままでお元気でご活躍されますことをお祈りいたしまして退任のあいさつとさせていただきます。



めぐり会いの広場

職員人事異動

| | | | |
|--------|------------|----|-----|
| 採用 | 令和2年5月11日付 | | |
| 津久井連絡所 | 臨時職員 | 神田 | 節子 |
| | 令和2年6月1日付 | | |
| 津久井連絡所 | 臨時職員 | 高橋 | 美佐江 |
| | 令和2年7月1日付 | | |
| 事務局 | 嘱託主事補 | 宮沢 | ゆかり |
| 中央事務所 | 嘱託主事補 | 齋藤 | 綾子 |
| 異動 | 令和2年7月1日付 | | |
| 事務局 | 嘱託主事補 | 北澤 | 美乃 |
| 中央事務所 | 嘱託主任 | 渡邊 | 美由紀 |
| 南事務所 | 主事 | 田屋 | 慶太 |
| | 嘱託主任 | 村上 | 陽次 |
| 緑事務所 | 嘱託主事 | 池田 | 広子 |
| 退職 | 令和2年4月30日付 | | |
| 津久井連絡所 | 臨時職員 | 石井 | 清美 |
| | 臨時職員 | 飯塚 | 知子 |
| | 令和2年6月30日付 | | |
| 事務局 | 再任用嘱託職員 | 山本 | 由美 |
| 中央事務所 | 再任用嘱託職員 | 嶋田 | 律子 |
| 緑事務所 | 嘱託主事補 | 杉浦 | 由香 |

読者投稿作品川柳

「感染を防ぐ マスクへ

望みかけ」

田名 畠山 義喜

読者の原稿の募集

めぐりあいの輪を広げるため、皆様に「短歌・俳句等」および「私のいきがい」、「私の大事なもの」、「私のふるさと」、「私の好きな風景(写真)」の読者投稿作品を応募いたしております。

ご応募やお問い合わせは、事務局までお送りください。

各事務所連絡先

- <事務局・中央事務所> ☎042(754)1177
- <南事務所> ☎042(745)2158
- <緑事務所> ☎042(783)1313
- <津久井連絡所> ☎042(780)1872
- <相模湖連絡所> ☎042(684)3126
- <藤野連絡所> ☎042(686)6505

編集後記

新型コロナウイルスによって、仕事、買い物、付き合ひ、健康管理など暮らしが一変した。いきがいの発刊も危惧されたが、こんな時こそ会員への情報発信が大切だろうと思う。

新型コロナウイルスは、いずれ収束はすると思うが、当分終息はしないだろうとの見方が多い。

「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」と言う。過去に目を転じてみると厄災の軌跡がわかる。

その教訓を汲み取ると、ちょうど100年前に全世界に流行した「スペイン風邪」は1918年(大正7年)9月から10月の初頭にかけて日本に上陸し、日本でも推計45万人が亡くなった。「スペイン風邪」の大流行は一回で終わることなく、大きく数回の波を経て到来し、終息まで丸2年を要したと言う。

この歴史に学ぶと、当分の間新型コロナウイルスと共存してゆくことになるのだろうか。

翻って、これから、いきがいの編集活動をどのようにすべきか？

電話、書面、メールでのやりとり及び身近な場所(作業所等)での取材など、「密」を避けながら「新しい生活様式」で続けてゆく他にないかもしれない。休刊という選択肢を避けるためにも、皆様のご健勝を願いつつ引き続き取材協力をお願いしたい。

編集委員 山川